

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和3年3月31日

事業所名 ミライムキッズアカデミー福島大森教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5				十分な広さが確保されている／許認可事業であり規定のスペースの倍の広さを確保している／教室間で適切な人員配置になるよう全体を把握しながら調整をしている。
	2	職員の配置数は適切である	5				規定の人数をクリアしている／利用人数に対してのスタッフ配置が多い／利用人数に応じた職員数で運営・指導を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1			玄関から室内(トイレを含む)が広くフラットになっている／配慮はなされているが検討の余地あり
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1			朝夕のミーティングを毎日行い、改善できるよう話し合っている／担会、朝夕のミーティングを行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				皆で振り返りをする機会を設け、改善したところを保護者に伝えている／保護者会でアンケートを取ったり個別懇談を設けるなどして保護者の意向をヒアリングしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				ホームページに公開し、誰でも閲覧できるようにしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	1		まだ設置していない／検討の必要あり
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				外部の研修、外部講師を招いて定期的に行っている／内部研修では、教室毎や全体でも開催。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				発達検査結果や担会、スタッフ保護者の聞き取り等を行い計画を立てている／1人1人を対象にした個別支援計画を策定し、適切な支援を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5				共通のフォーマットを使い、定期的に状況を把握している／SM社会生活やバイランドを利用している／発達検査を用いている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				毎日ミーティングを行いプログラム立案について話し合いを行っている／十分に話し合い検討したうえでプログラムを策定している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				特性によって多種多様なプログラムを準備している／季節や天候に合わせた多様なプログラムを提案している／教室単位・会社全体など様々な工夫を凝らしている／子どもたちの声を取り入れて検討している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5				一人ひとり成長に合わせて必要なチャレンジできる活動プログラム(学習、野外活動等)の用意／平日・休日・長期休暇等に応じた多様なプログラムを用意している／その子に合わせたプログラムを検討している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				アセスメントを通して精査したものを支援計画を立てている／子供の状況に応じて適切な支援計画を立てて支援を実施している／個々に合わせて作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5				朝、夕のミーティングで出勤スタッフ全員で丁寧確認している／毎朝時間をかけてミーティングしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				毎日必ず支援の確認を行っている／帰りのミーティングで共有を行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				HUGを活用し、いつでも振り返られる様クラウドで残している／毎日一人一人の様子を確認し、記録を取っている
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				6か月毎にモニタリング実施／定期的にモニタリングを行っている／初回利用時には聞き取りを行っている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5				自立、日常的な支援等を行っている／様々な場面に対応できるよう、マニュアル・ガイドラインを策定している	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			子どもを傍で見ている指導員、担当者が会議に参加している／相談支援事業所に自発・統括が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			連携し密に取っている／トラブルにすぐに対応できるようにしている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			5	まだニーズのある子どもがいない／受け入れる場合は体制を整える／現在対象者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		訪問し情報を共有していたが、コロナウィルスの為、控えている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			5	対象者いない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			密に連携を取り、スタッフにも研修の機会を提供している／研修に参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2		市の施設を積極的に利用している／子供の特性上厳しいところがある／一般の方も参加できる企画を企画している
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5			放デイ協議会2カ月1回／放デイ協議会に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			HUGや迎えの際・送迎時等で様子を伝えている／気づいたことはすぐに共有するようにしている／保護者の要望や必要と思われるときに懇談を設けている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3		2	懇談時、療育的目線からアドバイスしている／様々なケースをスタッフ間で想定し、話し合っている
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			定期的に保護者会を開催している／契約時に説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			必要な方や保護者からオファーがあればアドバイスしている／送迎時や保護者会で密に連絡を取っている／定期的に懇談を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			相談しやすい環境をつくれるように心がけている／年に数回保護者会を実施
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			目安箱や困ったときは”〇〇先生に言う”ボードを取り入れている／HUGなどを利用し、ささいなことにも対応している／重要事項説明書に明記している目安箱を設置
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			お便り、月毎の活動内容
	35	個人情報に十分注意している	5			契約書、同意書、個人ファイルは鍵付き扉で保管している／契約時に保護者の同意を得ている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			個人ボードを作成／スタッフ間でこまめに共有をはかっている／メール・写真を活用している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1		外部講師(えっばら先生、山口先生講演会)のイベントを行い、広く周知している

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			マニュアルを使っでの勉強会を行っている／保護者への周知を行っている／具体策はlineのノートを活用している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			年に4回実施している／防災についてスタッフ間で意識統一を行っている／年間計画に入れている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待研修を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			身体拘束の恐れのある子どもには具体的に個別支援計画に記入し保護者に伝えている／マニュアルを作成し確認している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			アレルギーの同意書をもっている／医師の指導、医療的ケアを全体に周知している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			自発、教室長ミーティングで共有し、各教室に周知している

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年3月31日

事業所名 ミライムキッズアカデミー大森教室 保護者等数(児童数)20家庭 回収数 13家庭 割合 65%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	5	1	先生の移動が多く、子どもが戸惑う事もある／職員の移動の回数が多いような気がします	ご家族様にはご迷惑をおかえしえております。異動等に関しましては、事前にお知らせする事でお子様の不安・負担を極力減らしていきたいと思っております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりなどの設置など、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	8			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12	1			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10	3			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6	6	教室間の交流はあるようですが、障害のないお子さんとの交流は無いですね？／あまり感じないです	子どもの特性上、交流は難しい事もあり基本的には、交流の機会はありません。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12		1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	11	1	1		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	2	1	コロナの影響もあり、参加できていないのでいつかは参加してみたいです	新型コロナウイルスの状況が良くなりました際には、是非ともご参加ください
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	3	1	苦情を言ったことがありません	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12		1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1			
14 個人情報に十分注意しているか	12	1				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	7	1		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	7	2	子どもたちとも、年に何度か行うのも良いかと思えます	防災訓練は子どもたちと定期的に行っています
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9	4		とっても楽しみに行っています／遊びたい気持ちが強いと行きしぶりがあります	子どもたちには、楽しみながら療育ができる環境になるよう心がけています
	18 事業所の支援に満足しているか	12		1		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。